

日本英文学会東北支部ニュースレター

Newsletter

The Tohoku Branch of the English Literary Society of Japan

2015 年 6 月号 (June 2015)

発行 日本英文学会東北支部 〒981-8511 仙台市青葉区土樋 1-3-1 東北学院大学 英語英文学研究所内
TEL022-264-6401 FAX 022-264-6530 Email: tohoku@elsj.org URL: <http://www.elsj.org/tohoku/>

支部長報告

日本英文学会東北支部長 箭川 修

5 月の爽やかな気候の下、立正大学品川キャンパスで行われた第 87 回大会に参加された会員の方々も多数いらっしやったことと思います。今年度は、利便性が高かったせいか、例年よりも出席者が多かったように思われました。大会初日のシンポジウムでは、大河内理事・副支部長が司会・講師を担当されました。ご多忙の中をお疲れ様でした。

さて、大会前日には理事会・評議員会が開催され、佐々木和貴評議員とともに出席しました。その席では、昨年度の支部選挙の結果を踏まえ、全国大会終了後に新年度の本部理事会が発足することが決定され、会長には引き続き関西支部理事の佐々木徹氏（京都大学）が、副会長には新たに関東支部理事の原田範行氏（東京女子大）が就任することになりました。それ以外の新執行部メンバーについてはホームページをご覧ください。

日本英文学会は現在、支部の集合体として運営され、本部と各支部はそれぞれに運営状況を監視し合う体制となっていますが、昨年度からは、支部会計の項目立てについても、本部からかなり細かな指導が入るようになり、支部事務局の仕事はこれまで以上に複雑さを増しています。また、大きめの赤字を計上した支部については、その理由を理事会・評議員会で説明するよう求められもします。幸いなことに、東北支部では、支部会計の健全化という本部の方針を元に検討を行い、昨年度には「東北支部英文学研究振興事業」のうち「東北英文学賞」に変更を加えたこともあり、今回の理事会・評議員会で特に問題とされるようなものではありませんでした。

本部の財政にかなり厳しいものがあることは昨年度にも報告したとおりですが、今年度の理事会では、財政のみならず、運営を支えていく体制それ自体の将来に強い危惧の念が表明されました。事務局長をはじめとする事務局員の選任が困難になっていること、また、事務作業を長年にわたって引き受けてくださっている職員の定年が近づいていることなどが主な要因です。会員の皆様には、全国および支部において、研究発表の応募や論文の投稿を通じて学会の活動を積極的に支えて下さっていることに大いに感謝申し上げますが、日本英文学会という大きな船を実際に動かしていく根幹に機能不全が生じないとは言えない状況であることをご理解頂きたく存じます。

もちろん、当面の問題として、学会が事業として展開している活動—全国大会、支部大会、機関誌の発行、賞の授与、シェイクスピア祭、海外研究者招聘事情など—を縮小・廃止する計画はありません。東北支部においても根幹となる事業は継続していく必要があります。とりわけ、支部大会、支部論集『東北英文学研究』に関しては、会員の皆様の積極的な応募・投稿によってさらなる充実を目指して行きたいと考えています。ちなみに、全国の理事会・評議員会では、アメリカ文学関連論文の投稿数の増加によって、『英文学研究』のアメリカ文学担当の編集委員の増員が提案・承認されました。この傾向は東北支部にも当てはまるようで、近年は、支部大会についても、『東北英文学研究』についても、アメリカ文学分野の応募数に比して、イギリス文学分野、英語学・英語教育学分野の応募が少々寂しい状況が続いています。当該分野の研究者の方々の積極的なご応募を改めてお願いする次第です。

今年度の支部大会は 11 月 7 日（土）～8 日（日）に宮城学院女子大学において開催されます。入試等の日程に厳しい中、開催校をお引き受け頂きました宮城学院女子大学の会員の皆様には心より感謝申し上げます。この支部大会が充実したものとなりますように、改めまして、会員の皆様が研究発表に奮ってご応募くださいますようお願い申し上げます。

入退会手続きおよび会費納入について

全ての東北支部会員の入退会手続きおよび会費納入は、支部事務局ではなく本部事務局を通じて行われることとなります。日本英文学会 HP (<http://www.elsj.org/>) に入退会に関する情報がございますのでご覧下さい。詳しくは本部事務局 (ejimu@elsj.org) へお尋ねください。年会費は、本部会費 (7000 円) + 支部会費 (1000 円) です。

第 70 回支部大会の開催について

2015 年 4 月 18 日に第 1 回理事会および大会準備委員会が開催され、日程等の協議が行われました。審議の結果、第 70 回大会は以下のように行われることになりました。

日時：2015 年 11 月 7 日 (土)・8 日 (日)

場所：宮城学院女子大学

また、日本アメリカ文学会東北支部との共催になります。お誘い合わせの上、ふるってご参加ください。

研究発表応募要項

大会第 1 日目には研究発表を行う予定です。研究発表をご希望の方は、(1) 研究発表概要 (2000 字・審査用)、(2) 概要の要旨 (400 字・採用された場合に大会プログラムに掲載)、(3) カヴァーレターの 3 点を 6 月 30 日 (火) までに MS Word 形式の添付ファイルにして、東北支部事務局 (tohoku@elsj.org) までお送りください。

また、(3) のカヴァーレターは、東北支部 HP (<http://www.elsj.org/tohoku/>) よりダウンロードしたものをお使い下さいますよう、お願い申し上げます。

シンポジウムについて

大会第 2 日目に行われる予定のシンポジウムについては、現在次のような企画が進行中です。どうぞご期待ください。

◆英文学部門：テーマ「英文学を教える、英文学で教える」(仮題)

司会・講師 選定中

◆米文学部門：テーマ「ヒッピー世代の諸先輩」(仮題)

司会：村上東 (秋田大学)

講師：井出達郎 (東北学院大学)、大森昭生 (共愛学園前橋国際大学)、中垣恒太郎 (大東文化大学)

◆英語学部門：テーマ・司会・講師ともに調整中

特別講演について

大会第一日目の 13 時 20 分から、京都大学の佐々木徹先生を講師にお招きして、特別講演が開催されます。皆様どうぞご期待下さい。

大会準備委員について

今年度の大会準備委員は以下の会員が務めます。

英文学部門：竹森徹士 (宮城教育大学) 梶理和子 (山形県立保健医療大学)

米文学部門：山田恵 (仙台白百合女子大学) 野口元康 (流通経済大学)

英語学英語教育部門：長野明子 (東北大学) 佐藤元樹 (福島大学)

開催校委員：鈴木雅之 (宮城学院女子大学)

理事会報告

2015 年 4 月 18 日に、本年度第 1 回理事会が開催されました。以下にその議事録を掲載します。

日本英文学会東北支部 2015 年度第 1 回理事会 議 事 録

日 時 2015 年 4 月 18 日（土）・15：00～17：00
場 所 東北学院大学土樋キャンパス 8 号館 3 階 第 1 会議室

出席者（順不同・敬称略）

支 部 長 箭川 修（東北学院大学）
副 支部長 大河内昌（東北大学）
理 事 石橋敬太郎（岩手県立大学） 岩田美喜（東北大学）
宇津まり子（山形大学） 遠藤健一（東北学院大学）
奥野浩子（弘前大学） 金子義明（東北大学）
川田潤（福島大学） 佐々木和貴（秋田大学） 鈴木亨（山形大学）
鈴木雅之（宮城学院女子大学） 村上東（秋田大学）
※飯田清志理事（仙台高専）は都合により欠席
事 務 局 福士航（事務局長） 井出達郎（事務局員）

報 告

(1) 本部理事会報告

箭川支部長より、本部理事会の各種報告があった。

議 題

(1) 2014年度事業報告（資料1）

事務局が提示した事業報告が承認された。

(2) 2014年度決算報告（資料2）

事務局が提示した決算報告が承認された。

(3) 2014年度監査報告（資料2）

事務局より監査報告について説明があり、承認された。

(4) 2015年度事業計画について（資料3）

事務局が提示した事業計画が承認された。

(5) 2015年度予算について（資料4）

事務局が提示した支部予算が承認された。

(6) その他

特になし。

編集委員について

今年度の編集員は以下の会員が務めます。

英文学部門 大西洋一（秋田大学）鈴木雅之（宮城学院女子大学）竹森哲士（宮城教育大学）

米文学部門 宇津まり子（山形大学）伊達雅彦（尚美学園大学）村上東（秋田大学）

英語学英語教育部門 朝賀俊彦（福島大学）富澤直人（山形大学）高橋英也（盛岡大学）

事務局の体制について

東北学院大学准教授・福士航が事務局長を、同大准教授・井出達郎が事務局員を務めております。支部大会開催関係事務と会計を福士が、HP管理と出版関係事務を井出が担当しております。事務局へのご連絡は、電子メール（tohoku@elsj.org）をお使いください。